

他職種・新人技師への動画を用いた教育の有用性

◎辻本 真央¹⁾、杉山 寛貴¹⁾、山下 いずみ¹⁾、大塚 真哉¹⁾、小野本 仁美¹⁾、奥田 典子¹⁾、池本 純子¹⁾、井垣 歩¹⁾
兵庫医科大学病院¹⁾

【はじめに】当院では、他職種への輸血に関連する教育を輸血マニュアルの配布や勉強会などで行っている。今回医師、看護師など他職種対象の勉強会で、緊急輸血に関する運用について動画を用いて説明を行ったところ、理解しやすいとの意見があり、動画による教育の有用性を感じた。また、新任技師、輸血当直を担当する非専任技師への説明の際は、手順書やマニュアルなどの文章と実際の検査の見学による説明を行っているが、緊急輸血の頻度により見学の機会を逃すことも多かった。そこで作成した動画が、新任技師や輸血非専任技師の教育にも応用できると考え、新たに検査方法や緊急度に応じた対応に関する動画を作成し、教育を行った。その内容と成果を報告する。【内容】輸血製剤依頼から払出までの輸血部での運用の動画を、通常時と緊急時の2種類作成し勉強会を行った。動画に対するヒアリングをもとに、電話対応などのセリフを追加するなどの改良を行い、各緊急度に合わせた運用の動画も追加で作成した。次に、新任技師、輸血当直業務を担当する非専任技師を対象に研修を行うにあたり、輸血製剤払出までの運

用だけではなく、検査手順についての動画も新たに作成した。動画をもとに対象者に研修を行い、動画の内容に関して不明な点はないか、改善点はないかヒアリングも行った。

【成果】他職種を対象に動画で運用を伝えることによって、輸血製剤払出までの運用がわかりやすくなり、必要な検体や書類などの重要性の理解につながった。検体や書類の不備が減ったことで、円滑な輸血製剤の払出が可能となった。新任技師、輸血当直を担当する非専任技師に対する教育では、動画による説明を追加することで輸血部での運用の全体像が把握しやすくなったとの意見があった。また動画は見返すことができ、迅速な不明点の解消にもつながった。

【考察】今回、動画での教育を追加することで、他職種との連携が円滑になり安全な輸血につながった。技師に対しては、輸血検査の理解が深まり検査の質の保証につながることがわかった。今後はヒアリングでの意見をもとに動画を改善していき、幅広い教育に活用することで人材育成につなげていきたい。兵庫医科大学病院 輸血・細胞治療センター 0798-45-6349